

幼児教育の様子 (串間・日南地区)

社会福祉法人かな会 かな保育園（串間市）

サッカーにつながる運動遊びの取組（3～5歳：4月～6月）

（1）「見る」と「聴く」と「動き」をつなげるボールタッチ遊び



【笛が鳴ったらボールでタッチ】



【スキップしながら笛の回数を聴いてタッチ】

LV.1：ボールを胸の前に持ち、友達とぶつからないように歩く。笛の合図で、近くの友達とボールでタッチする。

※ 友達とぶつからないように前を見て走る事や、衝突しそうな時には、ボール同王でタッチすることでケガを防ぐ事を学ぶ。

LV.2：スキップをしながら、Lv1を行う。その際、指示された人数（2人など）の友達とボールでタッチする。

※ 複雑な動き（ぶつからない、スキップ）を行いながら、指示（2人など）を聞いて動く力を養う。

LV.3：スキップをしながら、笛の鳴った回数の友達とボールタッチをする。その後、誰とタッチしたか確認する。

※ LV.2に加え、「誰とタッチしたのか」記憶しながら運動する力を養う。

（2）「様々な走り出し」や「状況の変化に応じた判断力」を高める折り返し走



【スピードを緩め、体を傾けて走る】



【友だちの折り返したマーカー以外を回る】

LV.1：ボールを持ってスタートし、前方にあるマーカーを折り返してゴールする。

※折り返す際に、スピードを緩めたり、体を傾けて走ったり、直線でスピードを上げて走ったりする感覚を養う。

LV.2：長座の姿勢でボールを頭上に持って構え、スタートする。

※色々な姿勢からスタートする。（ボールを持っていることで、手を使わずに立ち上がる動きを引き出す。）

LV.3：自分のコース上ではない、他のチームのマーカーで折り返す

※友だちとぶつからないように見て動く。

LV.4：LV.3の条件に加え、友だちが折り返した場所以外のマーカーを回ってゴールする。

※友だちが折り返したマーカーを見て、自分の走るコースを決める。短い時間の中で、状況を判断して、素早く動く力を養う。

（3）サッカーボールを使った鉄棒・雲梯遊び



【指導上の留意点】

運動遊びを行う際には、最初に危険回避の仕方を指導する。(1)~(2)については、友だちと衝突する恐れがあるので、ボールをぶつけてケガを防いだり、(3)については、鉄棒から落ちる方法を指導する。安全を確保することでけがや園児の恐怖感を取り除き、楽しく活動に参加できるようにしている。

○鉄棒や登り棒では、腕を曲げ、自分の体を持ち上げる力が必要となる。その動きを引き出すために、足にボールを挟みながら鉄棒、雲梯遊びに取り組んでいた。足にボールを挟むことで、自然に膝が曲がり、お腹に力が入る。体が丸まることで、しっかりと肘を曲げた逆上りに挑戦していた。

ラグビーフットボールの取組（3～5歳：1月～2月）

（1）約束やルールづくり



【約束やルール】

- 活動の前に、簡単な約束とルール作りを確認してから活動を行うようにしている。
- 約束やルールは、ラグビーの簡単なルールの内容と友だちを蹴ったり叩いたりしないなどの安全面の内容をみんなで確認している。

（2）ボールを持って走る練習



（3）トライの練習



【ボールを持って走る練習】

- 自分の陣地から相手のゴールラインまでボールを落とさないように走る。

【トライの練習】

- ボールを持って走った後、相手のゴールラインにボールをつける。

（4）1対1の練習



【1対1の練習】

- 他の運動遊びで学んだことを考えながら、左右に相手を交わしたりして走る。
- 相手からボールを奪われないように相手のゴールラインまで走る。

（4）3対3の練習（参観日で披露）



【3対3の練習】

- 3対3に分かれて、相手のゴールラインまでボールを運ぶ。どのようにボールを運んでいくのかは、自分たちで考えて行っている。（指導者は、必要な時だけアドバイスや支援をしている。）

【参観日】

- 毎年、参観日の最後にラグビーで学んだことを保護者へ披露している。

- 約40年間取り組んでいるラグビーフットボールで、パスやトライ、足へのタックルなど発達段階に合わせながら遊び感覚で取り組んでいる。これまでに、大きな怪我をした児童はいない。むしろ怪我防止につながっていた。
- 一つのボールを、みんなでつないでいくラグビーの良さを通して、体力だけでなく仲間との関わりの中で、社会性や協調性、友だちへの思いやりなどを育成していた。

幼保連携型認定こども園 あがた幼稚園（日南市）

運動遊びの取組

（１）発達段階に応じた剣道



< 4 歳児 >

- 全員が剣道を経験する。
- 稽古着・袴には着替えず、竹刀のみを使用して活動している。その際、竹刀は、幼児が扱いやすいように短い竹刀を使用している。
- 遊びの中で楽しませるように工夫されている。
- 子どもの特性を知る一つの手がかりとなっている。



< 5 歳児 >

- 剣道は、選択制で実施している。
- 稽古着・袴に加えて、剣道具をつけて活動する。
- 剣道の基礎的・基本的な知識及び技能を発達段階に応じて身につける。

（２）教材・教具を活用した剣道



< ラダー >

- ラダーを目標物にすることで、足の運びを身につける。
- リズムやテンポが良くなる。
- 動作が速くなる。
- 遊びの感覚で楽しさや心地良さを味わいながら活動することができる。



< 打ち込み棒 >

- 長さのある棒を活用し、複数で楽しみながら打つ感覚を学ぶことができる。
- 打ち込み棒にイラストが示してあり、打つ際の具体的な目標にすることができる。

- 遊びの要素を取り入れながら自分から進んで何度も繰り返すことに面白さや楽しさを感じることができるよう仕掛けが数多くあった。
- 「体のバランスをとる動き」や「体を移動する動き」、「竹刀を操作する動き」といった複雑な動きを教材・教具の開発や場の工夫、ルールの簡易化などで園児が取り組みやすいような工夫がなされていた。
- 指導者が自ら範を示すとともに、活動中は、園児に対する励ましや賞賛の言葉が随所にあふれていた。「やる気」を引き出す工夫が数多く見られた。

(3) 園児が自ら選択する運動遊び

■雲梯



■のぼり棒



■木登り



■砂遊び



■三輪車



■飛び石



- 遊びを中心とする身体活動を十分に行うことで、多様な動きを自然と身に付けることができる。
- 園児が自ら運動遊びを選択することによって、自分たちの遊びに合わせてルールを変化させたり、新しい遊び方を創り出したりしている場面が見られた。
 - ・ 自分で遊べる園庭・選べる園庭の工夫（自発的に体を動かしたくなる環境の構成）
 - ・ 様々なことに興味をもつことのできる施設づくりの工夫（家族で話ができるように）
- 園児が自分で好きな場所を見つけ、そのうちに仲間を集って活動する姿が多く見られた。
- 日頃から体を動かす習慣があることで、活動し続ける力（持久力）を高めることにつながる。
- 遊びから得られる成功体験によって、体を活発に動かす機会を増大させるとともに、何事にも意欲的に取り組む態度を養うことができる。そのための、先生方の言葉かけや遊具、教材の工夫等が随所に見られた。
- 運動が幼稚園だけの一過性のもとならないように、家庭や地域にも情報が発信されており、共に育てる工夫が随所に見られた。
- 園児の興味や関心、意欲など運動に取り組む過程を大切にされていた。小学校以降の運動や生涯スポーツを楽しむための基盤が育成されるのだと感じた。

第64回宮崎県学校体育研究発表大会 大会役員

役職名	氏名	職名
名誉会長	黒木 淳一郎	宮崎県教育委員会 教育長
名誉副会長	小牧 直裕	宮崎県教育委員会 副教育長
〃	奥村 昌美	宮崎県教育委員会 教育次長
〃	佐々木 孝弘	宮崎県教育委員会 教育次長
〃	都甲 政文	日南市教育委員会 教育長
〃	吉松 俊彦	串間市教育委員会 教育長
会長	若林 繁幸	宮崎県学校体育研究会 会長
副会長	木宮 浩二	宮崎県教育庁スポーツ振興課 課長
〃	長尾 岳彦	宮崎県学校体育研究会 副会長
〃	古川 康二	宮崎県学校体育研究会 副会長
〃	肱岡 憲吾	宮崎県学校体育研究会 副会長
〃	松田 和広	地区実行委員会 会長
顧問	菊池 武司	宮崎県教育庁中部教育事務所 所長
〃	田中 さゆり	日南市教育委員会 学校教育課長
〃	武田 英裕	串間市教育委員会 学校政策課長
〃	黒木 秀樹	地区実行委員会 副会長
〃	圖師 宗忠	地区実行委員会 副会長
〃	坂元 教久	地区実行委員会 副会長
〃	肱岡 憲吾	地区実行委員会 副会長
〃	大田原 千佳	小学校部会会場校 校長
〃	内倉 寛仁	小学校部会発表校 校長
〃	黒木 秀樹	小学校部会発表校 校長
〃	松田 和広	中学校部会発表校 校長
〃	土持 光司	中学校部会発表校 校長
〃	吉田 重樹	高等学校部会会場校 校長
〃	肱岡 憲吾	特別支援学校部会会場校 校長
参与	篠原 俊尚	宮崎県教育庁スポーツ振興課 課長補佐
〃	田中 裕久	宮崎県教育庁スポーツ振興課 課長補佐
〃	小川 充	宮崎県教育庁中部教育事務所 教育推進課長
委員長	黒木 章宏	宮崎県学校体育研究会 理事長
副委員長	齋賀 哲也	宮崎県教育庁スポーツ振興課 主幹(学校体育担当)
〃	川崎 直人	宮崎県学校体育研究会 副理事長
〃	島田 亮介	宮崎県学校体育研究会 副理事長
〃	上野 伊佐雄	宮崎県学校体育研究会 副理事長
〃	榎本 盛一	地区実行委員会 委員長

役 職 名	氏 名	職 名	名
委 員	財 津 吉 正	宮崎県教育庁スポーツ振興課	指 導 主 事
〃	西 田 英 司	宮崎県教育庁スポーツ振興課	指 導 主 事
〃	堀 口 直 樹	宮崎県教育庁スポーツ振興課	指 導 主 事
〃	早 崎 達 也	宮崎県教育庁スポーツ振興課	指 導 主 事
〃	岡 田 直 幸	宮崎県教育庁特別支援教育課	指 導 主 事
〃	堀 内 潤一郎	宮崎県教育庁スポーツ指導センター	副 主 幹
〃	佐々木 真 紀	宮崎県教育庁スポーツ指導センター	指 導 主 事
〃	今 村 陽 一	宮崎県教育庁スポーツ指導センター	指 導 主 事
〃	月 野 功 大	宮崎県教育庁中部教育事務所	指 導 主 事
〃	新 改 和 朗	日 南 市 教 育 委 員 会	指 導 主 事
〃	加 藤 健一郎	串 間 市 教 育 委 員 会	指 導 主 事
〃	年 永 健 二	宮 崎 県 学 校 体 育 研 究 会	理 事
〃	前 田 浩 司	宮 崎 県 学 校 体 育 研 究 会	理 事
〃	佐久間 英 二	宮 崎 県 学 校 体 育 研 究 会	理 事
〃	笠 野 武 志	宮 崎 県 学 校 体 育 研 究 会	理 事
〃	須志田 史 也	地 区 実 行 委 員 会	副 委 員 長
〃	凶 師 啓 悟	地 区 実 行 委 員 会	副 委 員 長
〃	秋 吉 知 洋	地 区 実 行 委 員 会	副 委 員 長
〃	的 野 美穂子	地 区 実 行 委 員 会	副 委 員 長
〃	中屋敷 卓	地 区 実 行 委 員 会	委 員
〃	川 原 裕一朗	地 区 実 行 委 員 会	委 員
〃	日 吉 祐 太	地 区 実 行 委 員 会	委 員
〃	高 野 茂 嘉	地 区 実 行 委 員 会	委 員
〃	長 友 啓 輔	地 区 実 行 委 員 会	委 員
〃	吉 井 湧 人	地 区 実 行 委 員 会	委 員
〃	黒 原 麻 由	地 区 実 行 委 員 会	委 員
〃	尾 崎 城 夫	地 区 実 行 委 員 会	委 員
〃	田 中 美津子	地 区 実 行 委 員 会	委 員
〃	松 崎 勇 人	地 区 実 行 委 員 会	委 員
〃	星 原 貴 浩	地 区 実 行 委 員 会	委 員
〃	古小路 和 隆	地 区 実 行 委 員 会	委 員
〃	(佐久間 英 二)	宮 崎 県 学 校 体 育 研 究 会	事 務 局

第64回宮崎県学校体育研究発表大会 県実行委員会委員

役職名	氏名	職名	所 属
委員長	若林 繁 幸	宮崎県学校体育研究会 会 長	宮崎県立日南振徳高等学校
副委員長	木宮 浩 二	宮崎県教育庁スポーツ振興課 課 長	宮崎県教育委員会
〃	菊池 武 司	宮崎県教育庁中部教育事務所 所 長	中部教育事務所
〃	長尾 岳 彦	宮崎県学校体育研究会 副 会 長	宮崎市立赤江小学校
〃	古川 康 二	宮崎県学校体育研究会 副 会 長	宮崎市立宮崎中学校
〃	肱岡 憲 吾	宮崎県学校体育研究会 副 会 長	宮崎県立日南くろしお支援学校
委 員	田中 裕 久	宮崎県教育庁スポーツ振興課 課 長 補 佐	宮崎県教育委員会
〃	齋賀 哲 也	宮崎県教育庁スポーツ振興課 主 幹 (学校体育担当)	宮崎県教育委員会
〃	財津 吉 正	宮崎県教育庁スポーツ振興課 指導主事 (学校体育担当)	宮崎県教育委員会
〃	西田 英 司	宮崎県教育庁スポーツ振興課 指導主事 (学校体育担当)	宮崎県教育委員会
〃	堀口 直 樹	宮崎県教育庁スポーツ振興課 指導主事 (学校体育担当)	宮崎県教育委員会
〃	早崎 達 也	宮崎県教育庁スポーツ振興課 指導主事 (学校体育担当)	宮崎県教育委員会
〃	岡田 直 幸	宮崎県教育庁特別支援教育課 指導主事 (指導担当)	宮崎県教育委員会
〃	堀内 潤一郎	宮崎県教育庁スポーツ指導センター 副主幹 (指導担当)	宮崎県教育委員会
〃	佐々木 真 紀	宮崎県教育庁スポーツ指導センター 指導主事 (指導担当)	宮崎県教育委員会
〃	今村 陽 一	宮崎県教育庁スポーツ指導センター 指導主事 (指導担当)	宮崎県教育委員会
〃	小川 充	宮崎県教育庁中部教育事務所 教育推進課長	中部教育事務所
〃	月野 功 大	宮崎県教育庁中部教育事務所 指 導 主 事	中部教育事務所
〃	田中 さゆり	日南市教育委員会 学校教育課長	日南市教育委員会
〃	武田 英 裕	串間市教育委員会 学校政策課長	串間市教育委員会
〃	新改 和 朗	日南市教育委員会 指 導 主 事	日南市教育委員会
〃	加藤 健一郎	串間市教育委員会 指 導 主 事	串間市教育委員会
〃	松田 和 広	地区実行委員会 会 長	串間市立串間中学校
〃	黒木 章 宏	宮崎県学校体育研究会 理 事 長	宮崎県立宮崎南高等学校
〃	川崎 直 人	宮崎県学校体育研究会 副 理 事 長	宮崎市立生目台東小学校
〃	島田 亮 介	宮崎県学校体育研究会 副 理 事 長	宮崎市立宮崎西中学校
〃	上野 伊佐雄	宮崎県学校体育研究会 副 理 事 長	宮崎県立児湯るびなす支援学校
〃	年永 健 二	宮崎県学校体育研究会 理 事	宮崎市立宮崎東小学校
〃	前田 浩 司	宮崎県学校体育研究会 理 事	宮崎市立宮崎西中学校
〃	佐久間 英 二	宮崎県学校体育研究会 理 事	宮崎県立宮崎南高等学校
〃	笠野 武 志	宮崎県学校体育研究会 理 事	宮崎県立都城きりしま支援学校
〃	榎本 盛 一	地区実行委員会 委 員 長	串間市立串間中学校
〃	(佐久間 英 二)	宮崎県学校体育研究会 事務局担当	宮崎県立宮崎南高等学校

宮崎県学校体育研究会 事務局

〒880-0926

宮崎市月見ヶ丘5丁目2番1号

(宮崎県立宮崎南高等学校 内)

宮崎県高等学校体育連盟事務局)

TEL 0985-51-4109

FAX 0985-51-4298

E-mail info@miyazaki-koutairen.com